

case. 下関市  
05 カフェ



病院



>>>

店舗



その昔、質屋の蔵だった場所ならではの  
趣のあるリノベーション

## 🏠 リノベーション内容

Before



After



出入口の戸はガラス製から木製の戸に取り替えた。また、タイル張りの外壁の塗り替えを行った。

Before



After



天井のパネル張りを撤去した。腐食や害虫の被害があったため、基礎の改修をおこなった。

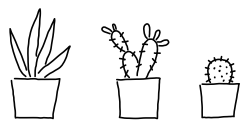
# リノベーション ストーリー

renovation story

市が実施する中心市街地活性化事業の説明会に参加、そこで市内で町おこし活動をしている建築の団体に出会ったことがきっかけとなり、市の事業に参加することを決意しました。申込の結果、私たちの取組内容が採用されたため、空き家の改修を始めました。最初の1年間は、地域の活用拠点として1階部分をカフェとして営業しました。その後、未着手だった2階部分を自分たちで半年間掛けて改修を行い、翌年から障害者支援施設兼カフェとしてリニューアルオープンしました。もともと耳鼻咽喉科で街に親しまれた場所であり、当時通院していた方々が喜んで訪ねて来て下さいました。大家さんにも「建物が無駄にならなくてよかった」と喜んでいただき、利活用をしてよかったと感じています。



## 利活用までの スケジュール



schedule

● 2013.11	利活用する物件を決める
● 2013.11	市の事業に採用される
● 2013.12	詳細な打ち合わせを開始
● 2014.1	リノベーション開始
● 2014.5	リノベーション完了
● 2014.6	オープン

## こだわりポイント



### 新しいものと古いものが絶妙に融合した空間

病院の受付で使用されていた石の1枚板をそのままカフェのカウンターで使用しました。床板とカウンター下の壁面のタイルは自分たちで塗装して使用しました。カフェの一角には改修当時は珍しかった黑板塗装を施し、どこか懐かしさを感じることができる空間を演出しました。また、病院の前は質屋の蔵として使用された建物なので、その雰囲気を残すようにしました。



case. 下関市  
06 飲食店



農業施設



店舗



手仕事でつくることこだわることで  
生まれた心地いい空間

## 🏠 リノベーション内容

Before



After



もともと農業用の建物として使用されていた建物だったため、ほとんどなかった外壁は使わなくなった建物の扉や木材などを譲り受けて手作りした。

Before



After



もともと仕切りとして使われていた柱や壁はそのまま残して活用した。床材や窓ガラス、天井などは譲り受けた材料を活用している。

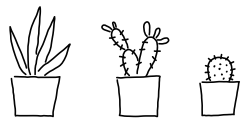
# リノベーション ストーリー

renovation story

夫が体調を崩したことをきっかけに、ゆったりとした時間を過ごせるカフェなどを作れたらと思い、利活用を考え始めました。当初は、私のお気に入りのお店を施工した方をお願いしたいと考えていましたが、全て自らの手仕事でやってみようと思い立ち、夫婦二人で改修を始めました。もともとは農業用の建物だったこともあり、片付けに時間がかかりました。また、極力自然に近い素材を使うことにこだわり、一から自分たちで行ったため手間も掛かりましたが、その分日々発見もあり、どんどんとよい空間に生まれ変わっていくのを感じながら改修していきました。友人も作業を手伝いに来てくれて現在の状態になりましたが、色々な場所を少しずつ今後も改修し、より過ごしやすい場所にしていきたいと思っています。



## 利活用までの スケジュール



schedule

- 2017.7 建物内の片付けを開始
- 2017.7 リノベーション開始
- 2018.7 店舗の庭でパン販売を開始
- 2020.12 現在の状態までリノベーション完了
- 2020.12 オープン

## こだわりポイント



### 使わなくなった建物などから集めた、こだわりの素材

メニューの黒板、テーブル、窓ガラスなどは使わなくなったり、捨てられそうになっている”古くて良いもの”を譲り受けて活かしています。私たち夫婦にとって居心地の良い、こだわりの場所を作ることで、訪れるお客様にもその心地よさを感じてもらえるような空間を作り続けています。



case. 山口市

# 07 レンタルスペース

店舗



>>>

店舗



## 地元の大学生と考えた 地域に愛されるレンタルスペース

### 🏠 リノベーション内容

Before



After



もともとシャッターがあり、暗い印象の店舗でしたが、おもて面はガラス張りにして外から中が見えるようにすることで、店内を明るく見せ中に入りやすいようにした。

Before



After

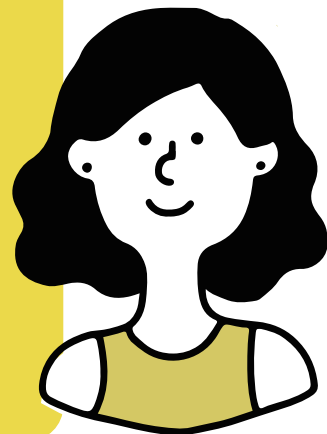


エアコンなどがあった関係でできていたデッドスペースを取り払い、天井も取り払うことで店内が広く見えるようにした。

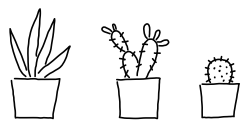
# リノベーション ストーリー

renovation story

和菓子屋さんが退去され空きテナントになっていた時、街づくりに取り組む会社の方から、「リノベーションの活動をしている学生団体と一緒に改修をして活用してはどうか」との提案をいただいたことがきっかけで、改修することを決めました。大学生と一緒に進めたことで、学生ならではの意見をもらいながら進めることができましたし、興味のあるキッチンスペース付きのレンタルスペースをこだわって作りました。改修前は、「立地はいいが家賃が高くて入居に踏み切れない」という声をいただくことがあったため、時間貸しにすることでハードルを下げることができました。今では、開業したい方が試験的にお店をされたり、シーズン物のお店が入ったり、学生が試験的にお店を開かれたりと様々な方に利用していただいています。地域の方に使用していただき、それによって商店街に人が流れ、街の活性化につながればうれしいです。



## 利活用までの スケジュール



schedule

● 2019.3	空きテナントになる
● 2021.3	街づくり会社から提案を受ける
● 2021.5	大学生と初ミーティング
● 2021.5	リノベーション開始
● 2021.6	リノベーション完了
● 2022.8	オープン

## こだわりポイント



### 大学生と一緒に考えて、使いやすく設計した空間

青色の壁紙と天井の梁をイメージした格子は、一緒に改修に取り組んだ大学生のこだわりです。天井の格子は、オーナーの本業である酒屋の「酒蔵の梁」をイメージしてデザインしました。使う人や用途によって簡単にレイアウトを変更できるよう、壁面に板を入れるレールを設置して簡単に棚を作ることができるように工夫しました。



case. 08 山口市  
美容室



店舗



>>>

店舗



自然の中でキャンプを楽しむ  
そんな気持ちにさせてくれる美容室

🏠 リノベーション内容

Before



After



外壁やガラスは磨いただけでそのまま使用した。屋根部分に装飾を施し、店名の看板を設置した。

After

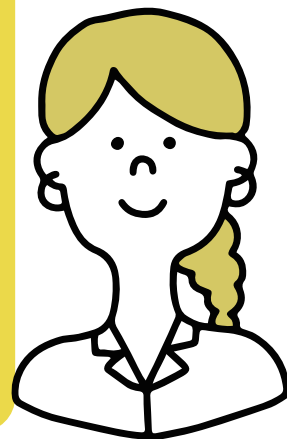


お店のテーマを「自然」にしたため、壁に木材の板を張り付け、装飾として木材のオブジェを取り付けた。

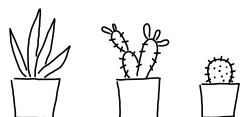
# リノベーション ストーリー

renovation story

以前勤めていた美容室から独立して開業しようと物件探しをしていたところ、たまたま出会った知人の紹介で今の物件と出会いました。もともと美容室が入っていた、いわゆる「居抜き物件」だったのですが、一から自分で作り変えたかったため不動産屋さんと交渉し、骨組みのみで内装がない状態にしてもらってから契約しました。共同経営している他の2店舗と似たような雰囲気にしたかったため、同じ大工さんをお願いして作ってもらいました。新築で建てるのとは違い、費用を抑えながらも自分の好きなテイストにできるため、楽しみながら改修しました。私のお店は「自然」をテーマにしたのですが、気に入った雰囲気になってよかったですし、お客様にもご好評いただいているので満足しています。



## 利活用までの スケジュール



schedule

● 2021.12	知人の紹介で空き店舗を見つける
● 2022.4	契約を結ぶ
● 2022.5	リノベーション開始
● 2022.8	リノベーション完了
● 2022.8	オープン

## こだわりポイント



### 自然をテーマに装飾し、街中にいながらも特別な時間を提供

自然を意識した装飾がポイントです。4面あるカット台の足元には、太陽、月などそれぞれ自然をイメージした木製のモチーフを飾りました。入ってすぐの壁面とシャンプー台のある部屋の壁は、地層をイメージした土壁を使用しました。店舗内の照明は県内のガラス作家さんが制作したランプシェードを使用し、天井から吊り下げてキャンプの雰囲気を演出しています。



case. 山口市

09 食堂、花屋、事務所など



住宅



複合施設



愛された場所の名残を残しながら  
次の時代へ繋げる

## リノベーション内容

Before



After



食堂の建物は増築部分があったため、撤去して元の状態に戻した。道路に面している場所はガラス貼りにした。

Before



After



室内は土間にして靴で上げられるようにした。もともとの土壁と梁を見えるようにし、土壁は崩れないように処理した。

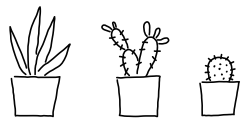
# リノベーション ストーリー

renovation story

会社を移転する物件・土地を探す中で、当初は新築とリノベーションの両方で検討していましたが、倉庫として借りていた物件の奥に複数の物件があることが分かり、これらの物件を利活用していくことを決めました。コミュニティが自然と生まれるような建物を目指して計画を行い、着工前には改修前の状態を見せようイベントも行いました。敷地内の土を使って土壁を補修したり、柱の落書きを残したり、梁を見えるようにしたり、もともとの建物の歴史を残しつつ新しさも取り入れて改修を行いました。この物件は一家族が代々引き継いできたもので、一つの敷地の中にお店が入っていたり、学生や公務員が住んでいた「つながりが生まれる場」として存在していました。こうして利活用することで色々な方に見せよう機会になり、次の時代にバトンをつなげることができうれしく思います。



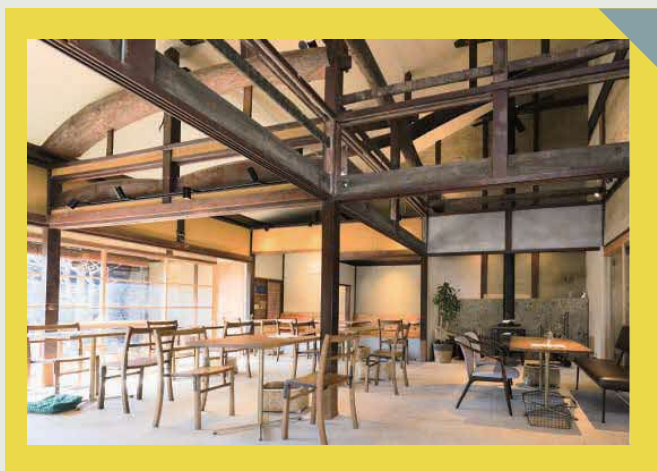
## 利活用までの スケジュール



schedule

● 2018	利活用する物件を探し始める
● 2019.11	物件が決まり、構想に着手
● 2020.11	着工前のイベントを開催する
● 2022.1	事務所部分が完成
● 2022.3	食堂部分が完成
● 2022.8	花屋部分が完成

## こだわりポイント



### 受け継がれたものを活かし、つなげる食堂と花屋

食堂となっている建物の立派な梁は、そのまま活かしました。天井を取り払ったことで、普通の家では見ることのできない、梁や継ぎ手を見ることができます。また、大きい窓から庭の景色を眺めることができるようにしました。花屋として使用している建物は、店内にある作業台や天井の板に古材を使い、元の建物に馴染むようにしました。